

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]	
1	一般	9	1	1	234消防力の強化	消防事務に要する経費			①災害活動に必要な装備品及び資機材の整備、消防被服の貸与 ②災害の増加及び複雑多様化に対応するため事業廃止はできない。また、職員の高齢化を勘案すると計画的な資機材整備を継続する必要がある。	44,367	97,195	6精査・検証	①市民の安心、安全な生活を守るための消防活動には消耗品、装備品、資機材は必要不可欠である。 ②災害件数の増加及び訓練による消耗を勘案し、平素から費用削減に取り組んでいるが、円滑な業務遂行を維持しつつ、今後も引き続き継続した費用削減を図る。	106,902	
2	一般	9	1	1	234消防力の強化	消防庁舎の管理運営に要する経費			①消防庁舎各種設備の保守管理業務委託 ②消防施設機器の管理及び良好な職場環境の保持は、消防活動拠点の機能維持に必要であり継続する必要がある。	7,349	9,077	6精査・検証	①消防の任務遂行のため、消防庁舎機能の保持は必要不可欠である。 ②継続的に保守点検を実施し、経費の対価費用を勘案し維持管理に努める。	10,168	
3	一般	9	1	1	234消防力の強化	職員研修に要する経費		○	①消防大学校、消防学校、救急救命士研修所、各種技能講習所への派遣 ②災害の増加及び複雑多様化に対応するため事業廃止はできない。また、専門知識や技術を得るため、計画的に継続する必要がある。	4,364	2,584	6精査・検証	①専門的な知識や技術は、外部機関をもって取得する以外に方法はなく、安心できる救急救命体制の確立するには必要不可欠である。 ②消防の任務を遂行するため、消防の資機材整備と同様に職員研修による知識・技術・資格等の取得は必要不可欠であり、常に最新の技術や知識を修得するため、計画的に人材育成に取り組むこととする。また、今後数年間における消防職員の退職者増加も勘案しながら、不断の体制強化に努める必要がある。	4,098	
4	一般	9	1	3	234消防力の強化	消防車両更新事業(救急・救助車両)		○	○	①消防車両及び車両積載品の購入 ②鎌ヶ谷市消防本部車両更新計画に基づき更新しているが、救急件数の増加により車両走行距離が増えている傾向にあることから、今後の車両更新計画を見直す必要がある。	0	32,518	6精査・検証	①市民の安心安全のため継続していかなければならない。また、車両、積載資機材の検討を重ね職員の安全性及び有効的な活用を考慮した車両更新を実施する必要がある。 ②本市の地域実情に合った車両及び資機材を検討し、より迅速且つ的確な活動ができる車両を整備する。	38,353
5	一般	9	1	3	234消防力の強化	くぬぎ山消防署建替事業		○	○	①現行のくぬぎ山消防署庁舎を維持しながら、庁舎隣接地を購入し新庁舎を建設する。機能移転後は現行消防庁舎を解体撤去する。 ②災害対応に支障を来すことなく工事を進めていく必要がある。	25,598	27,139	6精査・検証	①市民ニーズの高い安全に暮らせる社会システムを実現するには、防災拠点となるくぬぎ山消防署の施設整備を早急に進める必要があるため。 ②今年度中に新庁舎の建築を完了し、消防署機能を移転する。	223,048
6	一般	9	1	3	234消防力の強化	消防本部庁舎建替事業		○	○	①現行の消防本部庁舎を維持しながら、消防本部及び中央消防署敷地内に消防本部庁舎を建設し、機能移転後に現行消防庁舎を解体撤去する。 ②災害対応に支障を来すことなく、工事を進める必要がある。また、建替場所が住宅地に囲まれていることから、騒音や振動に対する近隣住民への配慮が必要である。	3,311	145,396	6精査・検証	①市民ニーズの高い安全に暮らせる社会システムを実現するには、災害活動拠点である消防本部庁舎の施設整備を早急に進める必要があるため。 ②今年度中に新庁舎の建築を完了し、消防本部機能を移転する。	699,273
7	一般	9	1	1	234消防力の強化	予防業務に要する経費		○		①火災予防を推進するため、消防訓練や住宅用火災警報器のPR、建築確認時の消防設備の設置指導・検査及び立入検査を行う。 ②住宅用火災警報器普及調査実施後における未設置住宅への設置推進方策が課題。	930	647	6精査・検証	①火災予防について、市民の意識高揚を図るため、啓発方法などの検討は継続的に行う必要があるため。 ②住宅用火災警報器普及調査の未実施及び未設置住宅を中心に継続的に調査を実施する。	1,549
8	一般	9	1	1	234消防力の強化	防火対象物・危険物施設関係図書電子データ整備事業		○	○	①防火対象物・危険物施設等の電子データ化を行い、消防本部内での情報共有が可能となるシステムを構築。 ②電子データ化を予定どおり実施し、半永久的な情報の保管体制が整備された。	0	28,350	1終了	①予定どおり電子データ化を完了したため。 ②今後も防火対象物などの更新業務を予防業務の範囲で実施する。	0
9	一般	9	1	1	234消防力の強化	大規模災害時に要する経費				①大規模または特殊な災害発生時において被災地の消防力では対応困難な場合に緊急消防援助隊、千葉県広域応援隊を被災地に派遣し、災害対応活動、復興復旧対応など、応急災害対策を実施する。 ②今後、防災に対する危機管理体制は更に進むことが予測されることから人員、資器材、燃料、食糧等の維持管理を含め、派遣体制の充実に努める必要がある。	0	0	6精査・検証	①消防組織法に規定される事業で継続的に取り組む必要があり、維持管理にとどまらず、進歩することが災害対応力の強化に繋がるため。 ②備蓄食糧の管理及び更新、燃料の確保を実施する。	718
10	一般	9	1	2	234消防力の強化	消防団運営に要する経費		○		①消防団の人員費及び装備、施設等の維持管理 ②消防団の装備、施設の機能維持管理及び人員確保	23,862	22,719	6精査・検証	①消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が公布されたことにより更なる充実強化が求められるため。 ②消防団施設の機能維持管理及び人員確保と装備の充実化を図る。	24,000
11	一般	9	1	1	234消防力の強化	警防業務に要する経費		○		①市民が安心して暮らせる街づくりのため、安心できる救急体制を構築する。 ②継続的に講習会を開催し修了者を増やすことが重要。	16,968	15,849	6精査・検証	①継続的に取り組み検証し、対応することが安全に暮らせる社会に繋がる。 ②継続的に講習会を実施し講習修了者を増やす。	15,346